

青梅療育院のお知らせ

令和7年5月号

発行責任者／七枝 隆志

編集／介護老人福祉施設

青梅療育院

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

5月の行事予定

- | | |
|--------|----------|
| 4日(日) | 端午の節句茶話会 |
| 20日(火) | 2階理美容 |
| 27日(火) | 3階理美容 |



6月の行事予定

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 15日(日) | 父の日茶話会 | 日付未定・・・ | 吹上創部公園 |
| 17日(火) | 2階理美容 | | 見学 |
| 24日(火) | 3階理美容 | | |



HAPPY BIRTHDAY



5月は11名の方がお誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| ・井上 桂子 様 | ・川口ナヲ子 様 | ・川島偉之亮 様 | ・小寺 幸子 様 |
| ・志水エイ子 様 | ・田島 伸子 様 | ・原 金作 様 | ・松澤 文子 様 |
| ・松田 静子 様 | ・柳川カツ子 様 | ・山本 初枝 様 | |

■ 介護福祉施設における職員の労働と健康について

介護老人福祉施設に従事する介護・看護職員および調理員、洗濯、清掃等を担当する業務においても、それぞれの役割や責任によって、決められた仕事だけでは済まされない問題を抱えています。これは特にご利用者様が多様な疾病を抱え、重度の認知症を伴う場合の生活の安全を守るために社会的責任を負っているからです。

労働安全衛生法における職員の健康問題として、特に介護施設における特徴として腰痛、頸肩腕症などの症状が出やすい職場であり、そのために健康で働き続けられるような職場環境づくりを考えて、健康管理に取り組んでいく必要が不可欠とされています。

しかし、実際には国が定めた介護報酬財源の中では、職員数が夜勤業務も含めて極めて厳しい人員配置の環境の中で、利用者本位のサービスと安心・安全を守らなければならない条件が課せられているのです。

そのために介護職員の配置基準の見直しを厚生労働省に強く要望してきていますが、国では国民に負担をかける介護保険料の増額は極力避ける方針をしており、施設における利用者様の行動見守りを電子化等によって推進することで、人員配置基準の増員見直しは行わない方針を堅持しております。

施設への入所基準は平成27年度から要介護3以上に限定されていることから、日常生活においても常時見守りを必要とするご利用者様が増加しているために、昼夜を問わず多動な徘徊や事故防止に神経を使わなければならないだけでなく、精神的な過重化によってストレスが増したりして、職員の健康管理は極めて重要な課題となってきています。

今までは腰痛・頸肩腕障害などが介護現場の特徴として扱われてきましたが、その上に精神的ストレスが加わるようになり、疲労が抜けきらないまま業務を続けざるを得ない実態が起きていると言えます。

こうなると一番心配なのは「バーンアウト」と言って、身体疲労や感情が欠落していくことによって、ご利用者様への思いやりや異常な行動への気づきの配慮を欠いてしまい、職場の人間関係にも緊密感が薄れてしまうことになりかねません。

健康で働き続けることは職員各自が十分に自覚していると思いますが、病院においても医療・看護ミスが発生しているように、過重労働によって注意力が散漫になり、これが大きな事故に繋がっていくこととなりますので、お互いに充分注意しながら各部署との連携を密にして、職員一人ひとりが自分の責任を自覚しながら業務に専念していくようお願いしております。

理事長 宇津木 敏郎

クッキングサロン開催

ご利用者様が美味しい“ぎょうざ”を作ってくれました！(^~)!



ゆっくりお風呂に入り隊

「ゆっくりお風呂に入り隊」も進化しています！！



ライブキッチン【握りずし】

厨房職員と元寿司職人（現相談員）
によるライブキッチン！！
握りたてのお寿司を振舞いました！



春を満喫♪

チューリップ・菜の花 春を満喫です。(^) /

